

氏名	水間 夏子(須賀 夏子)	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	老年看護学				
学位	学士(看護学)				
学歴	2006年埼玉県立大学 保健医療福祉学部看護学科卒業				
経歴	2014年～埼玉県立大学 保健医療福祉学部看護学科助教				
所属学会(役職)	日本老年看護学会、日本認知症ケア学会、日本難病看護学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
2					
3					
(2) 論文					
1	地域高齢者と看護学生の世代間交流に関する研究	共著	保健医療福祉科学、7、59-65	林裕栄、武田美津代、張平平、畔上光代、 水間夏子 、木村伸子、福田彩子	2018.3
2					
3					
(3) 学会発表					
1	手術を代理意思決定した高齢者の家族がたどる心理的プロセス-手術に同意するまでの家族の思いに着目して-	単著	日本老年看護学会第22回学術集会、名古屋市	○須賀夏子	2017.6
2	都市型診療所における看護師のコンピテンシーとその構造-Delphi法調査時の自由記述の分析から-	共著	プライマリケア学会、高松市	○丸山優、大塚真理子、國澤尚子、辻玲子、畔上光代、 須賀夏子 他	2017.5
3	都市型診療所における看護師のコンピテンシーとその構造-Delphi法による適切性の調査から-	共著	プライマリケア学会、高松市	○大塚真理子、丸山優、國澤尚子、辻玲子、畔上光代、 須賀夏子 他	2017.5
4	開放型病床における認知所高齢者のより良い退院を実現させるケア環境-看護師へのグループインタビュー調査から-	共著	認知症ケア学会、那覇市	○丸山優、田中敦子、 須賀夏子 、畔上光代、辻玲子、菊地悦子他	2017.5
5	開放型病床における認知所高齢者の退院支援の構造-グループインタビューによる質的分析-	共著	認知症ケア学会、那覇市	○田中敦子、丸山優、 須賀夏子 、畔上光代、辻玲子、菊地悦子他	2017.5
6	急性期医療を担う地域中核病院における認知症高齢者の長期支援を支援する多職種連携-地域連携部門スタッフのインタビュー調査からの考察-	共著	認知症ケア学会、那覇市	○菊地悦子、辻玲子、大塚真理子、田中敦子、丸山優、 須賀夏子 、國澤尚子他	2017.5
7	一般急性期病院で認知症高齢者を支えるケアの検討-地域での長期療養を見据えた多職種混合演習から-	共著	日本老年看護学会、名古屋市	○丸山優、田中敦子、 須賀夏子 、畔上光代、辻玲子、菊地悦子他	2017.6
8	一般急性期病院の開放型病床における認知症高齢者の退院支援-質的研究による看護師の思考と行動の探索-	共著	日本老年看護学会、名古屋市	○田中敦子、丸山優、 須賀夏子 、畔上光代、辻玲子、菊地悦子他	2017.6
9	地域高齢者と看護学生との世代間交流による健康支援プログラムの効果	共著	第48回日本看護学会-在宅看護-学術集会、つくば市	○畔上光代、林裕栄、武田美津代、木村伸子、 須賀夏子	2017.9

10	新卒者等訪問看護師の育成と適応プロセスに関する研究	共著	第48回日本看護学会-在宅看護-学術集会、つくば市	○林裕栄、武田美津代、藤川あや、畔上光代、須賀夏子他	2017.9
11	看護学生の訪問看護のイメージ-新卒者の就職先としてなり得るか-	共著	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第8回学術集会、越谷市	○新井由美、林裕栄、須賀夏子	2017.10
(4) その他					
1	該当なし				
2					
3					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)	認知症高齢者の長期療養を専門職連携実践で支える研修プログラムの開発(研究分担者)			2014.4～2018.3
2					
3					
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	老年看護学Ⅲ	2018.1	グループワークが円滑に進むよう工夫しながら学生に関わった。		
2	認知症看護	2017.1	急性期病棟における認知症看護について、映像資料を用いた演習を行った。		
3					
(2) 演習					
1	老年看護学Ⅱ	2017.4～7	科目担当者として高齢者のバイタルサインに関する講義、高齢者の食、口腔ケアに関する演習を担当し、加齢による機能変化や口腔内の清潔を保持するための看護について、体験を通して学びが深められるよう工夫した。		
2	看護学入門	2017.4～7	学内オリエンテーリング、領域紹介、グループワーク等を通し、看護学について理解を深められるように関わった。		
3					
(3) 実習					
1	老年看護学実習Ⅰ	2017.4～6	2年次生を対象に、大学近隣2施設の老人福祉センターを担当した。地域で暮らす高齢者の多様な生活状況について理解を深められるよう指導した。		
2	老年看護学実習Ⅱ	2017.11～12	2年次生を対象に、回復期リハビリテーション病棟での8週間の臨地実習指導を行った結果、期待した学習効果を上げることができた。		
3	総合実習(老年看護学領域)	2017.4～8	4年次生を対象に、回復期リハビリテーション病棟・医療療養病床の2施設を担当した。学生個々の学習目標に即した指導を行った。		
4	IPW実習	2017.10	4年次生を対象に、県内のリハビリ病院での実習により、利用者中心の考え方、多職種連携の実際について学びが深められるよう指導を行った。		
(4) 論文指導					
1	該当なし				
2					
3					
(5) その他					
1	該当なし				
2					
3					
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会等の講師					
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ		開催年月
1	該当なし				
2					
3					

(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	第22回日本難病看護学会学術集会実行委員	日本難病看護学会	2017.8
2			
3			
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
2			
3			
5. 学内運営(委員会委員)			
1	看護学科カリキュラム運営検討会補佐		
2			
3			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		